

東京工科大学報 第60号



Photo 八王子キャンパス 正門より本部棟を望む

CONTENTS

学長メッセージ『新しい工学部を創る』
学部便り
TOPICS 『工学部設置届出受理』
受賞

お知らせ『平成26年度の東日本大震災復興支援について』
学生・教員の活動
学事『卒業生数、就職状況、入学者数 等』
人事『平成26年4月1日以降の採用 等』

研究『受託研究、奨学寄附金、その他』
INFORMATION
『学内行事予定、決算・予算 等』

『新しい工学部を創る』

本年の6月に工学部の設置が文部科学省から認められました。この工学部を設置するに至った経緯をここでは述べたいと思います。本学は28年前に開学した時に工学部だけの単科大学として出発しました。1986年はちょうど日本のバブル景気が始まった年で、日本の経済発展は著しく、理工系の人材が産業界から求められていました。このような状況下での開学であったので、多くの受験生を集めることができました。1999年にはメディア学部を開設し、これが大成功を収めたので工学部を発展的に改組して、バイオニクス学部（現応用生物学部）、コンピュータサイエンス学部を作りました。しかし、21世紀に入ると従来の工学技術の限界が見え始めました。例えば、ものづくりに焦点を当ててみると、従来の工学技術は大量生産を前提にしており、結果として製品を安価に作るができるようになりました。その結果、我々の生活の質は著しく向上しました。しかし、これらの技術は環境問題を起こしたり、資源やエネルギーの大量消費問題を起こしてきました。

21世紀はサステナブル社会（持続的に経済発展する社会）を実現することが重要と考えられるようになってきました。そのためには新しい工学技術、すなわち資源やエネルギーをあまり消費せず、環境問題を起こさない技術が必要と考えました。それがサステナブル工学の発想であります。そしてこの新しい工学を教育・研究する工学部を設立しようとするに至ったのです。本来はサステナブル工学部とするのが良いのではないかと考えましたが、将来は工学全体がサステナブルを追求することになるので、あえて学部名にはサステナブルを付けないことにしました。また、サステナブル工学を実感してもらうために、学生全員に2か月間の就業体験をってもらうコーオプ教育を採用することにしました。アメリカやカナダの多くの大学で実践されているプログラムで、大学と企業が協力して学生を教育するプロジェクトです。この教育によって学生の勉強心と就業力を強化することができると思います。将来はアメリカやカナダの大学と提携して学生を海外留学させることも考えています。そのため、グローバル時代に相応しい人材の育成を図るべく、英語教材の採用や工学英語の充実など英語教育にも力を入れる予定です。



学部便り

◆ 応用生物学部 『1年生による研究発表（PBL）』

応用生物学部では、「協調して仕事を進めることができること」「きちんと調べ物ができること」という2つの目標を掲げて、1年生のフレッシュャーズゼミの中で、1年生3～4人のグループによる半年間の研究とその成果の発表を行っています。平成25年度のテーマは「将来重要な技術はどのようなものか？」という課題について、調査研究を主体に研究が行われました。その成果は、1年生全員、80のグループによる研究発表として平成25年12月に発表会を

行いました。発表内容はポスターにまとめられ、これを片柳研究所棟5階のスペースに貼り、担当の学生が教員や他の1年生に対して説明しました。写真はその発表会の風景です。優秀な発表7件が応用生物学部の全教員により選ばれ、学長賞として表彰され、副賞として10万円が付与されました。また、上位3グループは4月の新入生ガイダンスでも発表を行い、次の1年生の研究発表の参考としてもらいました。



ポスターセッション発表会場にて

◆ コンピュータサイエンス学部 『活躍するCS学部の学生たち』

秋は学会発表の時期です。今年も大学院生をはじめ学部学生たちが最新の研究成果を携え、学会という真剣勝負の場に参加しております。情報処理学会、電子情報通信学会、日本知能情報ファジィ学会、応用物理学会などの国内学会が中心ですが、少数ながらも国際学会・国際会議にて発表をするキラリと光る優秀な学生たちもおります。今年は女子学部生（4年生）が1名、世界で最も大きく権威ある学会の1つIEEE（The Institute of Electrical and

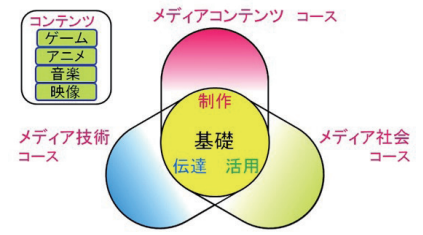
Electronics Engineers）にて卒業研究成果を発表し、その成果が認められ学術図書に論文が掲載されることになりました。学会発表のみならず光・レーザー技術展（ビッグサイト開催）での研究成果の一般公開（展示・説明）活動やNHK大学ロボコン（1次審査通過）への挑戦等も学生たちは積極的・継続的に行っております。また、実学主義を教育理念に掲げている本学だからこそ成し遂げられたことなのですが、Google Summer of Code（システム提案を全世界の学生を対象に呼びかけているソフトウ

エア開発大会）において修士学生が2年連続で合格しました。その成果は技術者向けの国際会議 GanetiCon2014(Ganeti Users & Developers Summit 2014)にて全世界へ向け発表されました。さらに本学が実学主義のもと強力に推進しているコーオプ教育もCS学部に浸透し始めており、CS学部3年生12名が企業の現場でコーオプ実習を行っています。以上のように、純粋な学術研究集会から、国際的技術者集会、さらには産業界の現場で、今まさに多くの学生が自分たちの夢の実現へ向け活躍しております。

◆メディア学部 『メディア学の学理に基づく確かな基礎力と最先端専門技術』

平成27年スタートの新メディア学部に向けて改革を進めています。まず、基礎学問に基づく3コースという新しい学びの軸を設定しました。「メディアコンテンツコース」では、音楽、映像、ゲーム、アニメなどのコンテンツ制作方法に重点を置きます。「メディア技術コース」では、人とメディアの間の情報の伝達方法に重点を置きます。また、「メディア社会コース」では、メディアの活用方法に重点を置きます。メディア学部では、就職に強い人材を育てるため、3コース共通の基礎学問の修得、チームワークや能動的な学修を取り入

れた新カリキュラムを構築中です。ここで、メディア学部は何を学ぶ学部かを述べておきましょう。メディア学部で学ぶことは単なる情報通信技術や作品の制作と異なります。情報通信技術では、コンピュータやネットワークで情報をスムーズに伝達することを扱います。これに対し、メディア学では、人が考えて発信した情報が人に理解されるまでを扱うところが違います。情報の種類は文字だけでなく、音や映像に及びます。これら具体的なコンテンツを取り扱っていく中で、情報やコンピュータの基礎学問を身につけられることがメディア学部の学びの特徴です。



メディア学部 新しい学びの軸

◆医療保健学部 『一期生卒業と医療保健学部の発展』

平成22年に発足した医療保健学部は本年3月に4学科の1期生を卒業させ、社会に送り出しました。そして平成26年4月から新たに臨床検査学科を開設し、さらに看護学科（看護師、保健師）の定員を1学年80名から120名へと増やしました。

これから少子超高齢社会の医療職は「病気を治す」仕事にとどまらず、一生

を通じて人々が健康を維持し、病気を予防する活動をサポートする広い分野が待っています。医療保健学部の学生は3C（コンピュータ、コミュニケーション、協働）の力をつける専門教育に加えて、地元自治体の大田区や教員が参加するNPO法人と協力して、勤労者の健康増進や、発達期の子ともとお年寄りの共同作業に参加するなど、医療職として将来の自分の進む道を幅広く

学ぶ機会を増やしています。またデザイン学部やコンピュータサイエンス学部と共同で高齢者の生活を助け、楽しくするためのもの作りなど、学科毎に学生時代に将来の夢を大いに育む教育を体験するように工夫を重ね、医療保健学部は発展しています。

◆デザイン学部 『つくって、くらべて、アウトセイ！ムサシをつくろう』

デザイン学部「bee プロジェクト」は、聖路加国際病院・すみだ水族館と協力して、8月12日（火）に都内の病院でワークショップ「つくって、くらべて、アウトセイ！ムサシをつくろう」を開催しました。

若林デザイン学部教授の指導のもとに、デザイン学部学生が参加し企画から教材のデザインや制作、当日の進行を担当しました。病院に入院する子ど

もたちを対象に実施し、今回で3回目となります。病棟の子もたちが、水族館の楽しさや生きものの面白さや素晴らしい体験して、興味が持てるテーマとしました。

今回は水族館の外で実施するワークショップであることから、センサーとパソコンを組み込んだ実物大の段ボールによるアウトセイのモデルを制作し水族館で録音したアウトセイの声を聞きながら、実際にアウトセイを飼育する水族館スタッフにアウト

セイの生態や特徴について紹介してもらったなど、水族館でしか体験することのできないことを病院でも体験できるように工夫をしました。その後、参加者一人一人がアウトセイの紙工作を作り、思い思いの色や模様を描き込んで自分ならではのアウトセイを制作して楽しみました。



段ボールによるアウトセイモデル



子どもたちとデザイン学部学生

TOPICS

工学部（機械工学科、電気電子工学科、応用化学科）の設置届出が受理されました

本学では平成27年4月の開設に向けて、工学部（機械工学科、電気電子工学科、応用化学科）の設置届出を文部科学省に行い、この度、6月20日付で正式に受理されました。これにより、平成27年4月より工学部（機械工学科、電気電子工学科、応用化学科）が本学八王子キャンパスに設置の運びとなりました。新設学部・学科の届出及び受理の詳細は、文部科学省ホームページをご参照ください。

■平成27年度開設予定の大学の学部等の設置届出について（平成26年4月分）【文部科学省ホームページ】

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ninka/1348950.htm

■工学部（機械工学科、電気電子工学科、応用化学科）ホームページ

<http://www.teu.ac.jp/gakubu/eng/index.html>

第76回情報処理学会全国大会で学生奨励賞を受賞

平成26年3月11日(火)～13日(木)に東京電機大学東京千住キャンパスで開催された第76回情報処理学会全国大会において、本学学生が発表した論文が学生奨励賞を受賞しました。

発表者：上野直哉さん メディア学部4年
(指導教員：上林憲行教授)
分野：コンピュータと人間社会
タイトル：Samulet:ICTを活用し寺院や神社をより身近に感じるサービス

■第76回情報処理学会全国大会
<http://www.ipjs.or.jp/event/taikai/76/index.html>

映像表現・芸術科学フォーラム2014において学生らの研究発表が受賞

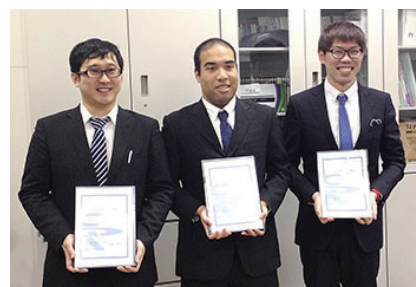
平成26年3月17日に早稲田大学国際会議場で開催された映像表現・芸術科学フォーラム2014においてメディア学部4年生、村瀬健さん、王晨さん、大学院メディアサイエンス専攻、甘霖さんらの発表が、CG-ARTS協会人材育成パートナー企業賞を受賞しました。

映像情報メディア学会、画像電子学会、芸術科学会の3学会の共催で開催される「映像表現・芸術科学フォーラム」は、規模が大きなフォーラムであり、コンピュータグラフィックス、デジタ

ルアート、インタラクション、コンテンツ制作などの技術開発や制作研究に関する発表があります。口頭発表のほかにポスター発表があり、メディア学部と大学院メディアサイエンス専攻生らの3件のポスター発表が44件の中から選ばれ、表彰されました。

詳細はメディア学部 BLOG をご覧ください。
■映像表現・芸術科学フォーラム2014において、3名の学生が受賞

<http://blog.media.teu.ac.jp/2014/03/20143-e214.html>



左から王晨さん、村瀬健さん、甘霖さん

大学院メディアサイエンス専攻生が「CG-ARTS協会賞」を受賞

大学院メディアサイエンス専攻、仁藤将輝さん、戀津 魁さんが「CG-ARTS協会賞」を受賞しました。本学はCG-ARTS協会の認定教育校として充実した教育を行っており、その認定校のなかで優秀な学生に対して「CG-ARTS協会賞」が送られます。

CG-ARTS協会賞受賞者：

仁藤将輝 (大学院修士2年生)

表彰理由：芸術科学会 NICOGRAPH など多数のCG関係の研究発表

戀津 魁 (大学院博士後期課程3年生)

表彰理由：映像コンテンツに関する制

作支援のシナリオ執筆支援システムの構築とアプリ制作(ハノイの本) 公開
認定教育校とは：

「認定教育校は、「CGエンジニア(CG・画像処理)」「CGクリエイター(デジタル映像表現・Webデザイン)」「マルチメディア」の教育カリキュラムを実践する教育機関です。教育カリキュラムとは、現場の方々が高い評価をいただいている教科書による学習指導と検定試験の受験となります。」(CG-ARTS協会記事より)

詳細はメディア学部 BLOG をご覧ください。

■CG-ARTS協会賞を受賞 <http://blog.media.teu.ac.jp/2014/03/cg-arts-50ad.html>



左から仁藤将輝さん、戀津魁さん

渡辺大地メディア学部講師が情報処理学会「2013年度優秀教材賞」を受賞

渡辺大地メディア学部講師が、情報処理学会「2013年度優秀教材賞」を受賞しました。本賞は、年度表彰として、情報処理教育に関して優れた教材の開発に対して授与されるものです。渡辺講師は、これまで本学メディア学部でコンピュータグラフィックスやプログラミングに関する科目を主に担当してきました。その中で利用する教材として、渡辺講師と本学大学院博士後期課程に在学していた竹内亮太さん(現シリコンスタジオ(株))を中心に開発を進めている「Fine Kernel Toolkit」システムを利用しています。このシステムは3次元コンピュータグラフィックスを用いたプログラミングを容易とするものであり、元々は研究支援用として開

発したものです。本学の授業においても多く活用され、大きな成果を上げています。特に、本学メディア学部のプロジェクト演習「インタラクティブ・ゲーム制作」では多数の作品で基盤システムとして採用しており、その成果は東京ゲームショウにて毎年展示発表しております。システムの教材としての優れた功績により、開発プロジェクトの代表である渡辺講師に優秀教材賞が授与されました。

■CGとゲーム開発の教育的実践 東京工科大学の授業・研究
<http://www.youtube.com/watch?v=XfsOKYou2c>



システムの説明をする渡辺大地講師

日本美容皮膚科学会で前田研究室の発表がポスター賞をダブル受賞

応用生物学部 美科学研究室（指導教員：前田 憲寿教授）の大学院バイオニクス専攻修士1年 古畑 恵美子さんの発表が第32回日本美容皮膚科学会総会・学術大会（平成26年7月12、13日、東京ディズニーリゾート内東京ベイ舞浜クラブリゾート）でポスター賞に選ばれ表彰されました。さらに、非常勤講師の秋本 眞喜雄先生（学部4年生 池田光里さん連名）の発表も同大会でポスター賞に選ばれ表彰されまし

た。なお、ダブル受賞は2011年以来の快挙です。

発表者：古畑恵美子

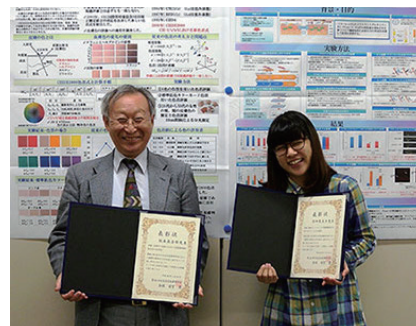
ポスター賞演題：

酸化ストレスによる角層機能低下に対するフラレーンの効果

発表者：秋本 眞喜雄（池田 光里連名）

ポスター賞演題：

皮膚色の評価のためのCIEDE2000色差式の有用性



秋本眞喜雄先生、古畑恵美子さん

お知らせ

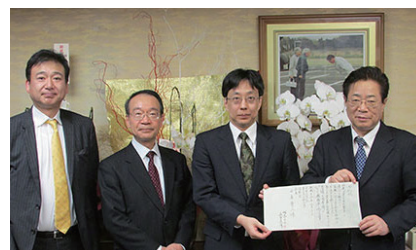
平成26年度の東日本大震災復興支援について

福島県相馬市の小中学校に楽器、体育用具を寄贈

東日本大震災復興支援活動の一環として、法人本部教職員・大学同窓会・専門学校校友会などを中心とした募金により、平成23年7月に岩手県の宮古漁協に漁船を寄贈したのを皮切りに継続的に寄贈を実施しています。

今年は東京工科大学、東京工科大学同窓会、同学園の日本工科大学専門学校、

日本工科大学八王子専門学校より相馬市の5小・中学校に楽器および体育用具を寄贈することになりました。相馬市3中学校は吹奏楽が盛んなことから、楽器を寄贈することになりました。今回で6度目となり、福島県では2度目となります。



相馬市市役所で寄贈式を実施

平成26年2月28日（金）に相馬市役所教育長室で寄贈式が行われ、法人を代表して千葉副理事長、本学同窓会から新井副会長、本学からは稲見事務局長（当時）が出席しました。まずはじめに相馬市長より直筆の感謝状を頂きました。続けて、楽器寄贈先の3中学校の生徒代表と部の顧問の先生出席のもと、寄贈式が行われました。式では、楽器とクリスタル時計を各中学校の生徒代表の方に手渡しする形式で行われ、最後に生徒代表の方から御礼の挨拶を頂きました。

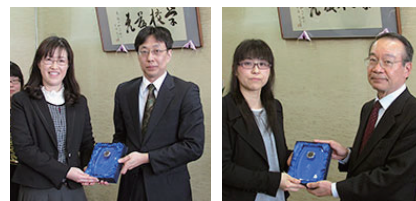
▼楽器寄贈

（東京工科大学同窓会、日本工科大学専門学校、日本工科大学八王子専門学校より）

中村第一中学校 クラリネット3本
中村第二中学校 ビブラフォン1台、テナーサクソフォン1本、ホルン1本
向陽中学校 ホルン1本、オーボエ1本、トロンボーン1本

▼小・中学校への体育館用具寄贈

（東京工科大学より寄贈）
飯豊小学校 体育館フロアシート運搬巻取機能付
中村第一中学校 体育館フロアシート巻取パー
桜丘小学校 体育館用ヒーター



メディア等で紹介されました

▼福島民友新聞で紹介される

この内容は平成26年3月2日発行の福島民友新聞の10面に「支援の楽器送る片柳学園など 相馬5小中学校」という写真付きの記事で掲載されました。

▼相馬市のサイトで紹介される

この内容は平成26年3月3日発行の相馬市のサイトのトピックスに「復興支

援で楽器など寄贈 学校法人片柳学園」という写真付きの記事で掲載されました。

http://www.city.soma.fukushima.jp/topics_contents.asp?kijino=9301877



■東京工科大学同窓会の東日本大震災復興支援について

<http://www.teu.ac.jp/information/2011/021435.html>

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の大学連携協定を締結

平成26年6月23日(月)に早稲田大学大隈記念講堂にて、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の連携協定締結式および記念シンポジウムが開催されました。本学を含む全

国の大学・短大552校が東京オリンピック・パラリンピック招致委員会との連携協定を結び協定校となりました。

2020年に開催される東京オリンピックを支援いたします。



学生・教員の活動

村上康二郎教養学環准教授が執筆に参加した書籍「ビッグデータ・マネジメント」が出版

村上康二郎教養学環准教授が執筆に参加した書籍『ビッグデータ・マネジメント～データサイエンティストのためのデータ活用技術と事例～』がエヌ・ティー・エスより出版されました。第3編第3章第1節「ビッグデータ時代におけるプライバシー・個人情報の保護と法的問題点」を村上康二郎准教授が執筆しています。『ビッグデータ・マネジメント～データ

サイエンティストのためのデータ活用技術と事例～』

●執筆者：計36名

●頁数：356頁

●ISBN：978-4-86469-084-3

■ビッグデータ・マネジメント～データサイエンティストのためのデータ活用技術と事例～エヌ・ティー・エス

■村上康二郎准教授 WEB

<http://www2.teu.ac.jp/media/~murakami/lab/home.html>



医療保健学部作業療法学科がリハビリテーション教育評価機構・世界作業療法士連盟に認定される

平成26年3月28日付けで一般社団法人リハビリテーション教育評価機構および世界作業療法士連盟から本学医療保健学部作業療法学科が、リハビリテーション教育に必要な施設基準およびカリキュラムを提供、実施できる養成施設として認められ、認定されました。

一般社団法人リハビリテーション教育評価機構とは学校等のリハビリテーション教育の質の向上、発展充実のために活動し、リハビリテーション関連

職種の教育・養成の振興に貢献することを目的とする団体です。世界作業療法士連盟は、約80ヶ国の作業療法士の職能団体によって構成される世界保健機構(WHO)に認められた国際団体で、作業療法士の国際的教育水準を定め、世界各国の作業療法士養成課程が国際的教育水準を満たしているかを審査しています。この世界作業療法士連盟が認定した養成課程を卒業した学生は、国際的な水準の作業療法士教育を受けたものと見なされます。



来須孝光応用生物学部助教の論文がアメリカ科学誌「Autophagy」に掲載

来須孝光応用生物学部助教らの論文「OsATG7 is required for autophagy-dependent lipid metabolism in rice postmeiotic anther development」が、アメリカ科学誌「Autophagy」(インパクトファクター:12.042<2012年時点>)にオンライン掲載されました(3月24日付)。

Autophagy WEB <https://www.landesbioscience.com/journals/autophagy/article/28279/>

[論文概要]

オートファジーとは、細胞内の大規模な分解システム(細胞内自食作用)で、

近年、多くの真核生物において、発生や分化の様々な段階で重要な役割を果たすことが明らかになっています。本論文では、穀物イネの正常な花粉・種子の形成に、オートファジーが必要なことを発見し、穀物の花粉・種子形成の新たな仕組みを解明しました。この成果は、植物におけるオートファジーの全く新しい役割を提唱するだけでなく、将来的にオートファジーを制御することにより、穀物の収量や種子の品質改善に繋がる可能性が期待されます。

※インパクトファクター：雑誌の1論文あたり、平均何回引用されているかを算出した数値で、雑誌の影響度を示す指標



安本匡佑メディア学部助教が「Techkriti'14」で招待出展

平成26年3月6日～9日にインド工科大学カンプール校(IIT Kanpur)で開催された「Techkriti'14」に安本匡佑メディア学部助教が招待され、研究作品である電子弓と The Light Shooter を展示しました。日本人では初の展示です。

■ Techkriti'14 WEB
<http://www.techkriti.org/>



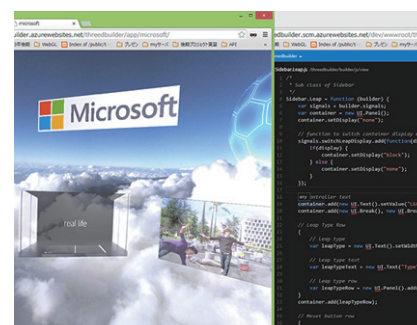
「サムライベンチャーサミット 2014」のマイクロソフトブースで研究作品を出展

平成26年4月19日(土)に開催された『第9回サムライベンチャーサミット』のMicrosoft社のブースにて、Microsoft Azureのクラウド開発環境およびInternet Explorer 11のグラフィック性能の出展のために、コンピュータサイエンス学部4年の李天琦さんが自分の研究作品である3D Web Builder及びモーション操作で動く東京工科大学の3D Webサイトを出展しました。

李さんは Microsoft Student Partners

として参加しました。また、李さんの他にコンピュータサイエンス学部から1名、プロモーションおよび機材のサポートで李さんのバックアップに参加しました。

■第9回サムライベンチャーサミット WEB
<http://reacher.jp/svs9/>



暮沢剛巳デザイン学部准教授が執筆した『世界のデザインミュージアム』が出版される

暮沢 剛巳デザイン学部准教授の著書『世界のデザインミュージアム』が出版されました。世界最先端のアートシーンで話題のデザインミュージアムを紹介します。

■『世界のデザインミュージアム』
<http://www.daiwashobo.co.jp/book/b166246.html>



尾崎弘之教授の『俺のイタリアン』を生んだ男が日本経済新聞のビジネス書ランキングで4位に入る

尾崎弘之コンピュータサイエンス学部教授の『俺のイタリアン』を生んだ男「異能の起業家」坂本孝の経営哲学が印刷書籍と電子書籍で同時に出版され、5月18日発行日本経済新聞のビジネス書ランキング(5月1日～7日)で第4位として紹介されました。

■尾崎弘之大学院アントレプレナー専攻教授の『俺のイタリアン』を生んだ男「異能の起業家」坂本孝の経営哲学が印刷書籍と電子書籍で同時に出版

<http://www.teu.ac.jp/information/2014.html?id=108>

■『俺のイタリアン』を生んだ男「異能の起業家」坂本孝の経営哲学 IBCパブリッシング株式会社

<http://www.ibcpub.co.jp/business/9784794602749.html>

■尾崎教授の「今、君たちが知るべきこと」強い日本にはコレが必要たい!! TOPWEB

<http://bylines.news.yahoo.co.jp/hiroyukiozaki/>

■尾崎弘之教授 WEB
<http://hiroyukiozaki.jp/>

■大学院アントレプレナー専攻 WEB
<http://www.teu.ac.jp/grad/ep/index.html>



星徹名誉教授が16号整形外科院長と共同で「睡眠姿勢革命」を出版

星徹名誉教授が「睡眠姿勢革命」を16号整形外科院長の山田朱織医師と共著で執筆しました。

本学メディア学部、コンピュータサイエンス学部と、医学に基づく枕の開発で実績のある山田朱織枕研究所、枕と睡眠姿勢の専門医院である16号整形外科との共同研究で進めた、ヒトの睡眠姿勢を見守る夢のMAKURA in BEDの研究開発の物語です。整形外科医、工学者、情報メディア学者のコラボレー

ションによる良い睡眠姿勢を解明するために行った学際的研究アプローチ、本学が有する国内最大規模のモーションキャプチャシステムを用いて行った寝返り動作解析の独創的な研究成果、個人個人にカスタマイズし生涯にわたって睡眠姿勢を見守るMAKURA in BED 開発の経緯などが述べられています。

■出版元 日本評論社

<http://www.nippyo.co.jp/book/6527.html>



田村吾郎デザイン学部講師がサントリーホールで空間演出

田村吾郎デザイン学部講師が、世界的に活躍する指揮者である西本智実氏と日本フィルハーモニー交響楽団による「MPSシリーズ」の演出とアートディレクションを行いました。

「MPSシリーズ」は、オーケストラの演奏とともに、ホールの壁面全面に水彩画によるアニメーション映像を映すという今までにない新しいコンサート

で、昨年の12月から今年の4月にかけて、サントリーホールでチャイコフスキーの三大バレエ「くるみ割り人形」「白鳥の湖」「眠れる森の美女」を上演しました。映像に使用された絵画は、同じくデザイン学部の深澤健作講師によるもので、この画期的な演出手法が話題になり、数多くのメディアに取り上げられました。



デザイン学部卒業生がアートフェスティバル「SICF15」に出品

平成26年5月に青山のスパイラルホールで開催された、次代を担うクリエイターの発掘・育成・支援を目的としたアートフェスティバル「SICF15」(第15回スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)に、デザイン学部卒業生の猪鼻貴正さんが卒業研究で制作した「まるごとえのぐ」を出品しました。

「まるごとえのぐ」は、果物や野菜などの全6種類(紫キャベツ、ぶどう、ほうれん草、ピーズ、ざくろ、玉ねぎ)の食べ物から色素を抽出して作った絵の具で、筆ではなく「指や手」に付け

て描きます。普通の絵の具と比べると退色や変色を起こしやすく、一つ一つの質感にも差があるため、自然物ならではの色の変化の面白さや奥深さ、素材の違いを肌で感じて絵を描く事が出来るそうです。

「SICF15」では、来場者が実際に絵の具を使って自由に絵を描けるスペースを設置し、多くの来場者が「まるごとえのぐ」による絵画制作を楽しんでいました。

「SICF15」の情報は下記HPでご覧になれます。

■卒業生がアートフェスティバル

<http://www.sicf.jp/#home>



「Thomson Reuters' recent updated list of highly cited researchers」に選出される

トムソン・ロイター社の研究者の業績を評価しランキング付する「Thomson Reuters Highly Cited Researcher」の「Engineering」部門に余錦華コンピュータサイエンス学部教授が選出されました。同部門には全世界から187人が入選し、日本からは2名入選されました。「Thomson Reuters' recent updated list of highly cited researchers」とは、各分野において、発表された論文の中で世界的にもっとも多く引用された研究者

をリストアップしたもので、世界的にもっとも影響のある研究を行っている研究者としています。トムソン・ロイター社は国際的な大手情報企業で Science_Citation_Index という研究論文のランキングづけなどを行っており、SCIに登録された雑誌にインパクトファクターという形で質を評価するシステムを公表し、各地でこのシステムが使われています。

■ Highly Cited Research - Research Analytics - Thomson Reuters WEB

<http://highlycited.com/>



伊藤丙雄デザイン学部准教授がイラストレーションした特別展「太古の哺乳類展」が開催

平成26年7月12日から10月5日まで国立科学博物館で夏の特別展「太古の哺乳類展」が開催され、伊藤丙雄デザイン学部准教授が今回のイベントで展示されている哺乳類のイラストレーション（ポスター、図録、チラシなどの復元画）を全て担当いたしました。「太古の哺乳類展」の情報につきましては下記サイトをご確認ください。

■「太古の哺乳類展」WEB
<http://www.honyu-rui.com>

また、同准教授が恐竜の復元画を担当した小学館の図鑑NEOシリーズ新版「恐竜」が出版されました。メインの恐竜を中心に約20点、伊藤先生が担当しました。

■図鑑NEOシリーズ新版「恐竜」WEB
<http://www.shogakukan.co.jp/pr/neo/>



大学院バイオニクス専攻生が平成26年度笹川科学研究助成を受ける

大学院バイオニクス専攻博士後期課程3年の福嶋勇太さん（指導教員：苗村 潔准教授）が日本科学協会から平成26年度笹川科学研究助成を受けました。

日本科学協会は昭和63年度以降、若手研究者を奨励しており、これまでに8003件が助成を受けています。今回は、1190名の応募の中から321名と採択率27%の狭き門を通過しました。なお、

研究課題は「内視鏡と針の挿入を可能にした心臓穿刺支援デバイスの開発」です。

■笹川科学研究助成 WEB
<http://www.jss.or.jp/ikusei/sasakawa/>



福嶋勇太さん、苗村潔准教授

英語学習シリアスゲーム「RIDDLES IN PIECES」完成版を公開

メディア学部ではシリアスゲームの研究が岸本准教授らを中心に行われています。今回、研究成果として英語学習シリアスゲーム「RIDDLES IN PIECES」完成版（制作：Team RIP）をウェブサイトで公開しました。

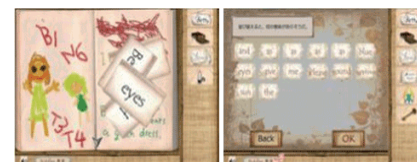
このゲームは、古い洋館に閉じ込められた主人公が、各部屋に隠されたバラバラの英単語を、並び替えて謎を解き、脱出を図るというストーリーです。今年2月にメディア学部主催で開催された「第1回シリアスゲームジャム Game Jam for "Happy English"」（会場：グリー株式会社）で制作された英語学習ゲーム5作品のうちの1作で、イベント終了後も改良を重ね、この度完成したものです。

「シリアスゲーム」とは、主に娯楽を目的とした従来のビデオゲームとは異なり、教育や社会問題の解決に「ゲームのチカラ」を活かす目的で制作されるゲームです。謎解きのワクワク感は勿論、美しいグラフィックや軽快なアクションで楽しく遊んでいるうちに、英文法の基礎が身に付く、素晴らしい学習ゲームに仕上がっています。ぜひプレイしてみてください。



タイトル画面

洋館の中を探索する



バラバラになった英単語

並び替えて謎を解こう！

- 「RIDDLES IN PIECES」
<http://www2.teu.ac.jp/media/~kishimotoy/SeriousGameJam/final/final.html#rip>
- 『第1回シリアスゲームジャム Game Jam for "Happy English"』
公式ウェブサイト <http://www2.teu.ac.jp/media/~kishimotoy/SeriousGameJam/>
- お問合せ先：メディア学部 岸本好弘（E-mail. kishimotoy@stf.teu.ac.jp）



学 事

1. 平成 25 年度学部卒業生・大学院修了者数

学 部	人 数	
応用生物・バイオニクス学部	301	
コンピュータサイエンス学部	418	
メディア学部	413	
医療保健学部	看護学科	63
	臨床工学科	63
	理学療法学科	59
	作業療法学科	21
デザイン学部	141	
学 部 計	1479	
バイオ・情報メディア研究科		
バイオニクス専攻	38	
コンピュータサイエンス専攻	39	
メディアサイエンス専攻	22	
アントレプレナー専攻	8	
研 究 科 計	107	
合 計	1586	

2. 平成 25 年度就職状況

学 部	希望者	就職者	就職率	大学院	
応用生物学部	225	214	95.1%	54	
コンピュータサイエンス学部	339	302	89.1%	46	
メディア学部	350	306	87.4%	15	
医療保健学部	看護学科	60	60	100.0%	0
	臨床工学科	48	41	85.4%	0
	理学療法学科	57	57	100.0%	0
	作業療法学科	19	19	100.0%	0
デザイン学部	113	104	92.0%	2	
学 部 計	1211	1103	91.1%	117	
バイオ・情報メディア研究科					
バイオニクス専攻	31	29	93.6%	1	
コンピュータサイエンス専攻	30	30	100.0%	2	
メディアサイエンス専攻	16	12	75.0%	0	
アントレプレナー専攻	5	5	100.0%	0	
研 究 科 計	82	76	92.7%	3	
合 計	1293	1179	91.2%	120	

3. 平成 26 年度入学者数

学 部	推薦入試	一般入試	小 計	編入学(2年次)	編入学(3年次)	合 計	
応用生物学部	85	187	272	10	13	295	
コンピュータサイエンス学部	120	449	569	18	25	612	
メディア学部	71	418	489	10	12	511	
医療保健学部	看護学科	12	114	126	0	0	126
	臨床工学科	7	86	93	0	0	93
	理学療法学科	10	76	86	0	0	86
	作業療法学科	4	42	46	0	0	46
	臨床検査学科	5	79	84	0	0	84
デザイン学部	36	182	218	0	1	219	
学 部 計	350	1633	1983	38	51	2072	
バイオ・情報メディア研究科							
修士課程	バイオニクス専攻	36	17	53	0	0	53
	コンピュータサイエンス専攻	14	27	41	0	0	41
	メディアサイエンス専攻	9	16	25	0	0	25
	アントレプレナー専攻	3	7	10	0	0	10
博士後期課程	バイオニクス専攻	1	1	2	0	0	2
	コンピュータサイエンス専攻	2	0	2	0	0	2
	メディアサイエンス専攻	0	0	0	0	0	0
研 究 科 計	65	68	133	0	0	133	
合 計	415	1701	2116	38	51	2205	

4. 博士学位授与

氏 名/学 位	論 文 名	指 導 教 員
高梨 健太 / 博士(工学)	メチル化 DNA のピンポイント検出法の開発	加藤 輝 応用生物学部准教授

人 事

1. 採用

(平成 26 年 4 月 1 日付)

教 授 応用生物学部	佐藤拓巳
教 授 コンピュータサイエンス学部	古井光明
教 授 コンピュータサイエンス学部	茂庭昌弘
教 授 コンピュータサイエンス学部	木村康男
教 授 コンピュータサイエンス学部	山下 俊
教 授 コンピュータサイエンス学部	高橋昌男
教 授 コンピュータサイエンス学部	西尾和之

教 授 メディア学部	高橋秀智
教 授 メディア学部	江頭靖幸
教 授 メディア学部	須磨岡淳
教 授 医療保健学部看護学科	森田夏実
教 授 医療保健学部臨床工学科	高野康雄
教 授 医療保健学部臨床検査学科	横田恭子
教 授 医療保健学部臨床検査学科	岡崎充宏
教 授 医療保健学部作業療法学科	清水順市
教 授 医療保健学部作業療法学科	中川和美

教授	デザイン学部	市川 徹	医療保健学部臨床工学科長、医療保健学部長補佐*	教授 篠原一彦
准教授	メディア学部	菊池 司	医療保健学部理学療法学科長（再任）、	
准教授	医療保健学部看護学科	白石裕子	医療保健学部長補佐（再任）*	
准教授	医療保健学部看護学科	吉武久美子		教授 中山 孝
准教授	医療保健学部臨床検査学科	吉田祥子	医療保健学部作業療法学科長、医療保健学部長補佐*	教授 奈良進弘
准教授	教養学環	富沢真也	医療保健学部臨床検査学科長、医療保健学部長補佐*	教授 細萱茂実
講師	コンピュータサイエンス学部	森本 樹	安全管理者（再任）*	教授 浦瀬太郎
講師	メディア学部	上野 聡		
講師	メディア学部	大久保友雅		
講師	医療保健学部看護学科	太田祐子	* 任期は平成 27 年 3 月 31 日までとする	
講師	医療保健学部看護学科	段ノ上秀雄		
講師	医療保健学部看護学科	太田浩子	（平成 26 年 6 月 1 日付）	
講師	医療保健学部看護学科	遠藤順子	学長（再任）	教授 軽部征夫
講師	医療保健学部臨床検査学科	廣田雅子	学長補佐（再任）	
講師	医療保健学部臨床検査学科	三上あかね	（任期は平成 27 年 3 月 31 日までとする）	教授 大野澄雄
講師	デザイン学部	深澤健作		教授 高柳 勉
講師	教養学環	加用一者		教授 上林憲行
				教授 矢野和義
助教	応用生物学部	阿部周司		
助教	応用生物学部	中川香奈子	（平成 26 年 4 月 1 日付）	
助教	コンピュータサイエンス学部	松山直人	【応用生物学部】	
助教	メディア学部	寺岡文博	応用生物学部勤務、医療保健学部作業療法学科兼務	教授 矢野和義
助教	メディア学部	加藤秀行		教授 山下 俊
助教	医療保健学部看護学科	小林里佳	応用生物学部兼務	教授 高橋昌男
助教	医療保健学部看護学科	塩満芳子		教授 江頭靖幸
助教	医療保健学部臨床検査学科	奥橋佑基		教授 須磨岡敦
助教	医療保健学部臨床検査学科	岸井こずゑ		教授 西尾和之
助教	片柳研究所	安藤公彦		講師 森本 樹
				講師 上野 聡
助手	応用生物学部	本間太郎		助教 松山直人
助手	医療保健学部看護学科	武本亜紀		
助手	医療保健学部看護学科	金さやか		
助手	デザイン学部	高橋庸平		
助手	デザイン学部	伊藤 潤	【コンピュータサイエンス学部】	
			コンピュータサイエンス学部兼務	教授 高橋秀智
実験助手	コンピュータサイエンス学部	井川勇介	コンピュータサイエンス学部兼務	
				講師 大久保友雅
（平成 26 年 5 月 1 日付）				助教 加藤秀行
教授	応用生物学部	松井 徹	【医療保健学部】	
			臨床工学科勤務	教授 梅田 勝
（平成 26 年 6 月 1 日付）			大学評議会委員（再任）	
助手	医療保健学部看護学科	久我容子	（任期は平成 27 年 3 月 31 日までとする）	教授 高橋哲也
（平成 26 年 7 月 1 日付）				
教授	応用生物学部	今村 亨	医療保健学部臨床検査学科勤務、	
教授	応用生物学部	岩渕徳郎	応用生物学部兼務	教授 後藤正男
事務職員（八王子キャンパス学務課）		久保田静		教授 佐々木聡
		山下雅子	臨床検査学科勤務	准教授 栗原由利子
		新津安代		

2. 任命

（平成 26 年 4 月 1 日付）			【教養学環】	
【東京工科大学】			教養学環勤務	教授 高橋 潔
医療保健学部長（再任）*				教授 勝浦寿美
				講師 加柴美里
片柳研究所長*		教授 柳澤信夫	【バイオ・情報メディア研究科】	
			バイオニクス専攻博士後期課程及び修士課程担当	
		教授 笹岡賢二郎	（応用生物学部）	教授 佐藤拓巳
医療保健学部看護学科長（再任）、				
医療保健学部長補佐（再任）*		教授 木内妙子	コンピュータサイエンス専攻博士後期課程及び修士課程担当	
			（コンピュータサイエンス学部）	教授 芝池成人

メディアサイエンス専攻博士後期課程担当
(メディア学部)

准教授 三上浩司
准教授 飯沼瑞穂

バイオニクス専攻修士課程担当
(応用生物学部)

助教 吉田 亘

医療保健学部看護学科

【大学事務局】

事務局長

山田宏治

事務局次長

(学務課、キャリアサポートセンター担当)

豊嶋信一

事務局蒲田キャンパス

業務課課長、学務課課長兼務

菅野真智男

事務局八王子キャンパス業務課課長

早川和美

医療保健学部臨床工学科

事務局八王子キャンパス学務課課長、
学生会館副館長兼務

植木由美子

事務局キャリアサポートセンター

センター長 (課長補佐待遇)

三好公秀

医療保健学部理学療法学科

事務局キャリアサポートセンター参与

(課長補佐待遇、課長事務取扱)

佐藤典明

事務局蒲田キャンパス業務課係長

牧原 卓

医療保健学部作業療法学科

事務局蒲田キャンパス業務課勤務

浅倉典男

事務局八王子キャンパス学務課勤務

橋本文徳

デザイン学部

事務局キャリアサポートセンター勤務

三谷 実

学長室室長 (課長補佐待遇)

秋山桂子

学長室勤務

内野隆博

事務職員 (事務局)

(平成 26 年 5 月 1 日付)

事務局蒲田キャンパス学務課勤務

高橋実花

(平成 26 年 6 月 30 日付)

事務職員

教授 角埜恭央

講師 久保友香

講師 魚住勇太

助教 安藤公彦

教授 石川ふみよ

教授 佐々木順子

教授 奥宮暁子

准教授 天野雅美

講師 王 麗華

助教 山本佳代子

助教 金子多喜子

助教 森實誌乃

助教 遠藤順子

助教 太田浩子

助手 寺本正恵

教授 山浦富雄

教授 片倉 寛

教授 武田 朴

助教 水島岩徳

教授 牧田光代

講師 真寿田三葉

助教 三浦達浩

助教 武藤友和

教授 橋野 賢

教授 山崎郁子

教授 生田宗博

助教 西野由希子

教授 及部克人

教授 宮下安弘

助教 板宮朋基

助教 玄 世峰

助教 深澤健作

稲見 衛

島田誠治

田仲千鶴

中山達雄

3. 昇格

教養学環

准教授 亀井 聡

医療保健学部看護学科

助教 田村南海子

医療保健学部臨床工学科

助教 加藤正太

4. 定年

事務嘱託職員として採用、八王子キャンパス業務課勤務

宮川善夫

小坂政徳

5. 退職

(平成 26 年 3 月 31 日付)

応用生物学部

教授 山下 隆

助教 鈴木義規

助教 鈴木郁郎

助教 森内 寛

助教 三上あかね

コンピュータサイエンス学部

教授 黒田道子

教授 毛塚博史

助教 浦上大輔

メディア学部

教授 塚本亨治

教授 山際和久

教授 飯田 仁

教授 中野裕也

研究

1. 受託研究（研究者名、研究テーマ、期間、企業（団体）名）

山下 俊（コンピュータサイエンス学部教授）

研究テーマ

「水蒸気バリア性あるいは熱的寸法性に優れたポリイミド、および粘土屈折率に合わせた透明性ポリイミド、およびタフクレスト膜強度の向上研究」(H26.4.1～H27.3.31) 住友精化（株）

2. 奨学寄附金（研究者名、企業（団体）名）

- 山下 俊（コンピュータサイエンス学部教授）アクティブ株式会社
- 河西理恵（医療保健学部理学療法学科講師）（財）立石科学技術振興財団
- 古井光明（コンピュータサイエンス学部教授）（財）軽金属奨学会
- 西尾和之（コンピュータサイエンス学部教授）（財）軽金属奨学会
- 正木 仁（応用生物学部教授）株式会社セプテム総研

3. その他（研究者名、研究テーマ、期間、企業（団体）名）

三田地成幸（コンピュータサイエンス学部教授）

研究テーマ

「シアンフリー光デバイス用高耐湿性光学接着剤の研究開発ーハイパワー耐性・低偏波依存性損失誘引型ー」(H26.4.1～H27.3.31)

（独）科学技術振興機構（研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）ハイリスク挑戦タイプ）

INFORMATION

1. 学内行事予定

紅華祭

10月12日（日）・13日（月・祝）
八王子キャンパス

かまた祭

11月1日（土）・2日（日）
蒲田キャンパス

第7回ホームカミングデーのご案内

10月12日（日）、13日（月祝）の2日間で開催される「紅華祭（八王子キャンパス）」の初日に、第7回東京工科大学同窓会ホームカミングデーを開催します。ご来場の際は下記の受付にお立ち寄りください。

受付場所：厚生棟4階 A食堂入り口（対象：大学、大学院出身者）

また、11月1日（土）、2日（日）のかまた祭（蒲田キャンパス）でも同窓会イベントが開催されます。

■同窓会ホームページ：<http://reunion.cc.teu.ac.jp/>



【八王子キャンパス】

成績表（前期）交付	9月中旬
後期【平成26年9月19日～平成27年3月31日】	
就職関連行事（3年生）	9月19日（金）
授業開始	9月22日（月）
祝日授業開講	9月23日（火）
履修登録	9月29日（月）～10月2日（木）
履修登録確認・修正	10月3日（金）
紅華祭	10月12日（日）、13日（祝月）【体育の日】
（紅華祭に伴う休講：準備および後片付けのため、全学部・全学年の開講科目について、10月11日（土）、14日（火）を休講とする）	
秋期保護者懇談会	10月12日（日）

【蒲田キャンパス】

成績表（前期）交付	9月中旬
後期【平成26年9月12日～平成27年3月31日】	
授業開始	9月12日（金）
祝日授業開講	9月15日（月）
祝日授業開講	9月23日（火）
祝日授業開講	10月13日（月）
秋期保護者懇談会（学業不振学生のみ）	10月18日（土）
かまた祭	11月1日（土）、11月2日（日）
（かまた祭に伴う休講：準備および後片付けのため、全学部・全学年の開講科目について、10月31日（金）および11月3日（月）を休講とする）	

2. 決算・予算

平成 25 年度決算

1. 資金収支計算書

(単位：円)

	科目	金額
収入の部	学生生徒等納付金収入	10,944,543,000
	手数料収入	286,216,055
	寄付金収入	33,180,000
	補助金収入	161,057,225
	資産運用収入	73,199,596
	事業収入	415,015,348
	雑収入	162,534,368
	前受金収入	3,248,109,750
	その他の収入	261,462,719
	資金収入調整勘定	△ 3,315,138,809
	前年度繰越支払資金	46,330,455,206
	収入の部合計	58,600,634,458
	支出の部	人件費支出
教育研究経費支出		2,112,406,340
管理経費支出		1,530,310,487
施設関係支出		475,690,943
設備関係支出		268,886,471
その他の支出		666,956,691
資金支出調整勘定		△ 455,975,791
次年度繰越支払資金		49,765,148,446
支出の部合計		58,600,634,458

2. 消費収支計算書

(単位：円)

	科目	金額
消費収入の部	学生生徒等納付金	10,944,543,000
	手数料	286,216,055
	寄付金	50,118,273
	補助金	161,057,225
	資産運用収入	73,199,596
	事業収入	415,015,348
	雑収入	162,940,368
	帰属収入合計	12,093,089,865
	基本金組入額合計	△ 457,887,620
	消費収入の部合計	11,635,202,245
消費支出の部	人件費	4,222,881,834
	教育研究経費	3,606,789,993
	管理経費	1,853,247,241
	資産処分差額	35,902,987
	徴収不能額	7,155,000
	消費支出の部合計	9,725,977,055
	当年度消費収入超過額	1,909,225,190
	前年度繰越消費収入超過額	4,351,047,857
翌年度繰越消費収入超過額	6,260,273,047	

平成 26 年度予算

1. 資金収支予算書

(単位：円)

	科目	金額	
収入の部	学生生徒等納付金収入	11,179,932,000	
	手数料収入	328,824,000	
	寄付金収入	33,250,000	
	補助金収入	177,293,000	
	資産運用収入	83,803,000	
	事業収入	487,724,000	
	雑収入	91,787,000	
	前受金収入	3,354,070,000	
	資金収入調整勘定	△ 3,354,070,000	
	前年度繰越支払資金	49,765,148,446	
	収入の部合計	62,147,761,446	
	支出の部	人件費支出	4,154,011,000
		教育研究経費支出	2,098,913,000
管理経費支出		1,475,689,000	
施設関係支出		807,620,000	
設備関係支出		1,232,004,000	
その他の支出		764,000,000	
資金支出調整勘定		△ 360,000,000	
次年度繰越支払資金		51,975,524,446	
支出の部合計		62,147,761,446	

2. 消費収支予算書

(単位：円)

	科目	金額
消費収入の部	学生生徒等納付金	11,179,932,000
	手数料	328,824,000
	寄付金	33,250,000
	補助金	177,293,000
	資産運用収入	83,803,000
	事業収入	487,724,000
	雑収入	91,787,000
	帰属収入合計	12,382,613,000
	基本金組入額合計	△ 2,039,625,000
	消費収入の部合計	10,342,988,000
消費支出の部	人件費	4,245,011,000
	教育研究経費	3,600,065,000
	管理経費	1,810,850,000
	消費支出の部合計	9,655,926,000
	当年度消費収入超過額	687,062,000
前年度繰越消費収入超過額	6,218,160,000	
翌年度繰越消費収入超過額	6,905,222,000	

3. 平成 27 年度入試日程

試験日	合格発表日	学 部	形 態		
6/29(日)	7/4(金)	応用生物 コンピュータサイエンス メディア デザイン	・編入学指定校推薦(専門学校)		
7/5(土)	7/18(金)	全専攻	・学内推薦(修士および博士後期)		
8/30(土)	9/12(金)	応用生物 コンピュータサイエンス メディア	・8月AO入試		
8/29(金) 8/31(日)		デザイン			
9/6(土)	9/12(金)	全専攻	・A日程(修士)		
10/19(日)	11/7(金)	応用生物 コンピュータサイエンス メディア 工学部	・10月AO入試		
10/12(日)	10/23(木)	医療保健 デザイン			
11/9(日)	11/21(金)	応用生物 コンピュータサイエンス メディア	・編入学一般選抜 ・編入学指定高専推薦(高等専門学校)		
予定 11/9(日)	予定 11/21(金)	応用生物 コンピュータサイエンス メディア	・編入学(MJHeP) ・編入学(外国人留学生推薦)		
11/15(土)	11/21(金)	応用生物 コンピュータサイエンス メディア 工学部	・指定校推薦(高等学校) ※注1 ・指定校推薦(専門学校) ・公募推薦 ※医療保健、デザイン学部のみ ・外国人留学生特別推薦		
11/16(日)		医療保健 デザイン			
1/17(土) 1/18(日)	2/10(火)	全学部	・センター利用試験前期 ※注2		
1/24(土) 1/25(日) 1/31(土) 2/1(日)			・一般入試A日程		
1/10(土)			1/15(木)	応用生物 コンピュータサイエンス メディア	・外国人留学生試験 ・外国人留学生指定校推薦(附属日本語学校)
2/8(日)			2/13(金)	全専攻	・B日程(修士および博士後期)
1/17(土) 1/18(日)			2/20(金)	応用生物 コンピュータサイエンス メディア 工学部	センター利用試験後期 ※注2
2/25(水)	3/6(金)	全学部	・一般入試B日程		

(注1) 指定校推薦(高等学校)は、医療保健学部では実施しない。
(注2) センター利用試験は、大学入試センター試験の得点を基に選抜するため、本学での個別学力試験は実施しない。
全学部：応用生物学部、コンピュータサイエンス学部、メディア学部、医療保健学部、デザイン学部、工学部



Photo 八王子キャンパス 片柳研究所棟



Photo 浦田キャンパス 3号館

東京工科大学報

発行月 || 2014年10月 発行 || 東京工科大学 編集 || 東京工科大学事務局業務課
〒144-8535 東京都大田区西蒲田 5-23-22 ☎ 03-6424-2111 <http://www.teu.ac.jp> jm-kmgyoumu@stf.teu.ac.jp

東京工科大学報 第60号 / 2014年度